



平成 28 年 4 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社エーアイテイー
代表者名 代表取締役社長 矢倉 英一
(コード番号：9381 東証一部)
本社所在地 大阪府大阪市中央区本町二丁目1番6号
問 合 せ 先 取締役 総合企画部・経理財務部担当 西村 司
電 話 番 号 (06) 6260-3450(代表)

平成28年2月期 通期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成27年4月7日に公表いたしました平成28年2月期（平成27年3月1日～平成28年2月29日）の通期連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成28年2月期 通期連結業績予想と実績との差異（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	24,468	1,749	1,777	1,130	59.12
今回実績 (B)	21,146	1,530	1,599	1,042	54.55
増減額 (B-A)	△3,321	△219	△177	△87	—
増減率 (%)	△13.6%	△12.5%	△10.0%	△7.7%	—
(ご参考) 前期実績 (平成27年2月期)	21,939	1,648	1,687	1,026	53.68

2. 差異の理由

当社グループは、国際貨物輸送、通関や配送、さらに3PL（サードパーティー・ロジスティクス）といった一貫輸送の提案型営業に注力し、新規顧客の獲得と既存顧客の取引拡大に向けて取り組んでまいりました。

その結果、当連結会計年度では、新規顧客の獲得は順調に推移することとなりましたが、既存顧客においては、円安による在庫調整、さらに暖冬による季節商品に荷動きが鈍かったことが影響し、国際貨物輸送の取扱高が前年同期と比較し減少し、前回発表予想を下回る営業収益となりました。

この環境下、利益の確保に努めるため、前連結会計年度からの仕入コストの低減効果を持続させるとともに、販売費及び一般管理費の抑制にも取り組んでまいりましたが、営業収益の減少の影響が大きく、営業利益、経常利益、当期純利益それぞれも前回発表予想を下回る結果となりました。

以上